

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス COCOSKIP		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	70人	(回答者数) 48人
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 3月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数) 13人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 7日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動特化の専門的な支援を密に行うことができる。	週に1回の運動療育についての勉強会やシミュレーションを通して様々な身体の使い方を児童に経験してもらえるようなプログラムの検討を行っています。	今後も研修や勉強会を通して支援員の技術と知識が向上するように定期的な
2	個別での支援プログラムの多種多様な変更が可能。	児童の特性や配慮すべき点を保護者から事前に聞き取りを行うことで、個別で環境の整備を整えることが可能である。	車いすでの通所や、医療ケアの必要な児童さんも今後通所ができるようにバリアフリーの充実や常勤又は非常勤の看護師の採用を目指します。
3	個別支援から小集団支援、そして中集団支援へと本人の成長や特性に合わせて支援を行うことができる。	日頃の個別支援の中でも支援員と様々な集団活動に取り組めるようにルールのある活動を提案し一緒に内容を確認しながら取り組んでいます。	小集団や中集団の希望が多くなっており週間スケジュールの中で集団療育の予約の時間を固定で設けられるようにします。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	1時間の短時間療育になり、かつ運動療育という専門的な支援を中心に行っているため児童の生活面での支援に結び付けにくい。	運動療育としての時間に特化しているため。	保護者や本人とのモニタリングを通して生活面での困り事や目指すべき課題を明確にすることで支援計画の中にも【健康・生活】の項目の支援に力を入れられるようにする。
2	避難訓練・防災訓練の開催の周知が至らない。	療育中の時間に児童と一緒に避難訓練・防災訓練を行っていないため。	年に2回定期的に行っている避難訓練と防災訓練の様子や訓練での結果等について更に保護者や利用児童に広く周知徹底を行う。
3			